

第3回本町BASE市民ワークショップ

日時：令和6年5月22日（水）午前10時30分～正午
令和6年5月22日（水）午後7時～午後8時30分
場所：本町BASE

1. 今後のスケジュールについて

日にち	内容
5月22日	第3回市民ワークショップ 意見聴取（主目的・条例・規則）
5月下旬～ 7月上旬	【 ・市民ワークショップ ・管理運営関連課打合せ会 9月補正予算案提出 9月条例案提出 政策検討会議、法令審査会 条例、補正予算 運営準備（会計年度任用職員募集・採用、利用申請受付他） 新しい施設運用開始予定
7月中旬	
8月上旬	
9月議会（議決）	
9月議決後	
10月中旬～	

2. 第1回・第2回市民ワークショップの振り返り・アンケート結果報告

3. 公の施設としての目的と活用方法

4. 意見交換

5. その他

2. 第1回・第2回市民ワークショップの振り返り

第1回

[開催日・参加者数] 令和6年2月15日(木) 19:00~20:30・13人
2月16日(金) 10:30~12:00・9人 計22人

[内容] ・公の施設として管理・運営する場合の基礎知識
・本町BASEの使用について何が変わる(共通事項)
・指定管理者制度について ・質疑応答 ・アンケート

[概要]

「公の施設の基礎知識」と「公の施設と指定管理制度」(地方自治法の成り立ち)の勉強会を開催

→公の施設として、施設条例・規則を制定し、運営が行われる際にこれまでと何が変わるかを学ぶ。関連して質疑応答とアンケート取得

第2回

[開催日・参加者数] 令和6年3月28日(木) 19:00~20:30・8人
令和6年3月30日(土) 10:30~12:00・6人 計14人

[内容] ・第1回市民ワークショップの振り返り
・第1回市民ワークショップでのアンケート結果報告
・公の施設としての目的と活用方法について ・条例・規則について
・意見交換 ・今後のスケジュールについて

[概要]

第1回市民ワークショップの振り返りとアンケート結果を共有し、公の施設としての目的と活用方法について、次の2案を提示①コミュニティ施設の場合、②創業支援施設の場合。意見交換を行う。屋外の一般主催(キッチンカー、テント)の利用ができなくなることを説明。

また、施設条例とは、大枠の条文は決まっており、施設の設置目的や開館時間や利用料金などが個別に決めていくことについて説明。

質疑応答とアンケート取得

(参考) 庁内管理運営打合せ(検討会議)を次のとおり開催

参集課：市民協働課、商工課、福祉政策課、都市計画課

第1回：令和6年2月8日

・本町BASEの概要、今後の目的と活用方法、スケジュールについて

第2回：令和6年3月22日

・第1回市民ワークショップの報告

・今後の目的と活用方法について

・第2回ワークショップに向けての情報整理

第3回：令和6年4月11日

・第2回市民ワークショップの報告

・目的と活用方法について

第4回：令和6年5月2日

・これまでの市民ワークショップ等による意見の情報共有

・主目的、活用方法について意見交換 ・今後のスケジュール

第2回本町BASE市民ワークショップアンケート集計結果

参加者計 14名（アンケート回答数14、回収率100%）

住まい	市内		10
	市外		4
仕事先	市内		5
	市外		7
	未記入		2
本町 BASE利用 目的・ 利用形態 (これまで)	出店者・来場者との交流		7
	マルシェ出店		5
	個別出店	飲食	5
		シェアキッチン	3
		物販	2
		ロフト	2
		フロア	1
		屋外	1
	施設スタッフへの相談・交流		4
置き椅子等情報取得		2	
その他			
今後の施設について	主な利用層	20~30代	12
		40~50代	12
		60代以上	9
		大学・専門学校生	8
		高校生	7
		中学生	6
		未記入	1
		主な利用目的	人との交流と自己実現を目的とした出店
	創業支援（実践場所）		9
	創業支援（相談）		8
	若者のまちづくり活動支援		6
	若者、子育て世代の交流		6
	市民活動団体（個人）イベント		6
	遊び場		5
	国際交流イベント		5
	LGBTQ イベント		5
	若者の悩み相談		4
	居場所のない人のための居場所づくり		4
	定年を迎えた方などのサークル活動	3	

自由記載欄

【3月28日参加者】

- ・自由に使うためにはどうしたらよいか（民間へ）（観光・おもてなし）
- ・これはワークショップではない。むずかしい事をむずかしい言い方で話しているだけだと思う。前進していない。市役所の方の方向性すら見えません。利用者の不在で話される！本町BASEが問題となった時と何ら変わらない。今後運営に不安しか残らない
- ・（主な利用者層（ターゲット）の質問欄）で誰でも来れる施設としての本町BASEですよね？
- ・全国的にも珍しい取組である”チャレンジショップ”といった目的は残すべきだと考えます。”居場所づくり”や”市民交流”を主な目的としてしまうとありきたりな施設になってしまう。
- ・あらゆる年代の方が「何かにチャレンジ」できるとよいかと思います。「居場所」は他にあるので、それ以外の「何か」できる場所になるとよいかと思います。
- ・「本町活性化」であれば、本町を利用しやすいようになるとよい（場所、金額）利用料金は前と同じでは。ないにせよ、以前と同じ様な施設であってほしい。創業支援に重きを置くより「やってみたい！」が実現できる場所であるあり方を求めます。キッチン等、保健所の許可はクリアできるのでしょうか？遊びに来る人ではなく、利用する人のことを考えていない気がします。

【3月30日参加者】

- ・ありがとうございました。できれば、1日単位で借りれるようになったら良いなと思っています。
- ・他所でのイベント出店のためにも借りたいです（シェアキッチン）
- ・今までみたいに1日単位での貸し出しはしないのでしょうか？
- ・コミュニティ機能（活用例1）が自由度が高く好ましく思います。一票入れます。屋外のキッチンカーや出店、非営利活動は引き続きご検討ください。分筆による地主からの直借、その際指定管理業者の責任で管理。
- ・犬走り部分は建物内（市が所有）と言えるので活動可能としてほしい。利用目的として医療福祉もコミュニティの延長として視野に入れてほしい。在宅医療の診療場所、障がい者雇用、社会的処方箋の実践場所としてのコミュニティ
- ・出店を考えていない人でも出店できると様々な方が出店され、にぎわうと思います。